

第6学年 国語科 学習指導案（略案）

美浜町立美浜西小学校

単元（小単元）名	話題に沿って、考えを深める討論をしよう	
本時の目標 7/8	目的に応じた討論を楽しく行い、考えの深まりを実感することができる。	
研究テーマ	「考えを伝え合うことを通して、仲間と楽しく学び、 考えを深めることができる児童の育成」	
主な学習活動・発問	教師の働きかけ	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学習課題 意見の「ちがい」を見つけて、自分の考えを伝えよう </div>		
<p>○本時の討論の流れとルールを確認する。</p> <p>○対戦相手と〔主張1〕の討論をして、互いの主張の「ちがい」を見つける。</p> <p>○対戦相手と自分の〔主張1〕を同じ立場のグループ内で交流し、意見の「ちがい」に着目して〔主張2〕の筋を考える。</p> <p>○対戦相手と〔主張2〕の討論をして、グループ内で互いの勝敗とその根拠を発表し合う。</p> <p>○各グループの討論の報告と良かったところを全体で発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・拡大掲示物を用いる。 ・相手の〔主張1〕をワークシートにメモさせる。 ・自分と相手の「ちがい」を伝え合わせることで、討論の筋を確認し合うことができるようにする。 ・複数の〔主張1〕を聞かせることで、自分の考えを深め〔主張2〕作りのヒントになるようにする。 ・互いの立場の一番の「ちがい」に着目して根拠を考えさせる。 ・ワークシートを用いて、具体例を挙げながら報告させる。 	

研究推進 設計図

授業 6年 国語

単元名・実践名

話題に沿って、考えを深める討論をしよう

子どもの姿

○ほとんどの児童が自分のなりの意見を持ち、相手の意見もしっかりと聞き取ることができる。
△自分の考えを深めたり、再構築した意見を伝え合ったりすることができていない。

何を（書かせ・考えさせたい）
・自分と友達との意見の「ちがい」

場（いつ・どこで）

・実際に対戦相手と討論をする時

方法（新聞含む）・支援（どのように）

・相手の〔主張1〕との違いを考える時間をとる。
・〔主張2〕は、初めに相手との「ちがい」を述べてから始まる原稿枠で書かせる。

ふりかえり（子どもの姿で・いつ）

・〔主張2〕を相手との「ちがい」を基に書くことができていたか。【ワークシート】

改善点

・主張の違いを時間内に書くことはできていたが、他教科とも関連させて相手意識をもって伝える意識向上が必要。